

「お米と食生活に関するアンケート」

インターネットアンケートサービス(gooリサーチ)は、全国の男女を対象に「お米と食生活に関するアンケート」調査を行い、その結果を公表した。(有効回答数は1,295名。男性:646名・女性:649名)

Q:最も気に入っている“お米の品種”

最も気に入っている“お米の品種”については、「コシヒカリ(28.1%)」が最も高く、2位の「あきたこまち(7.9%)」に20ポイント以上の差をつけた。

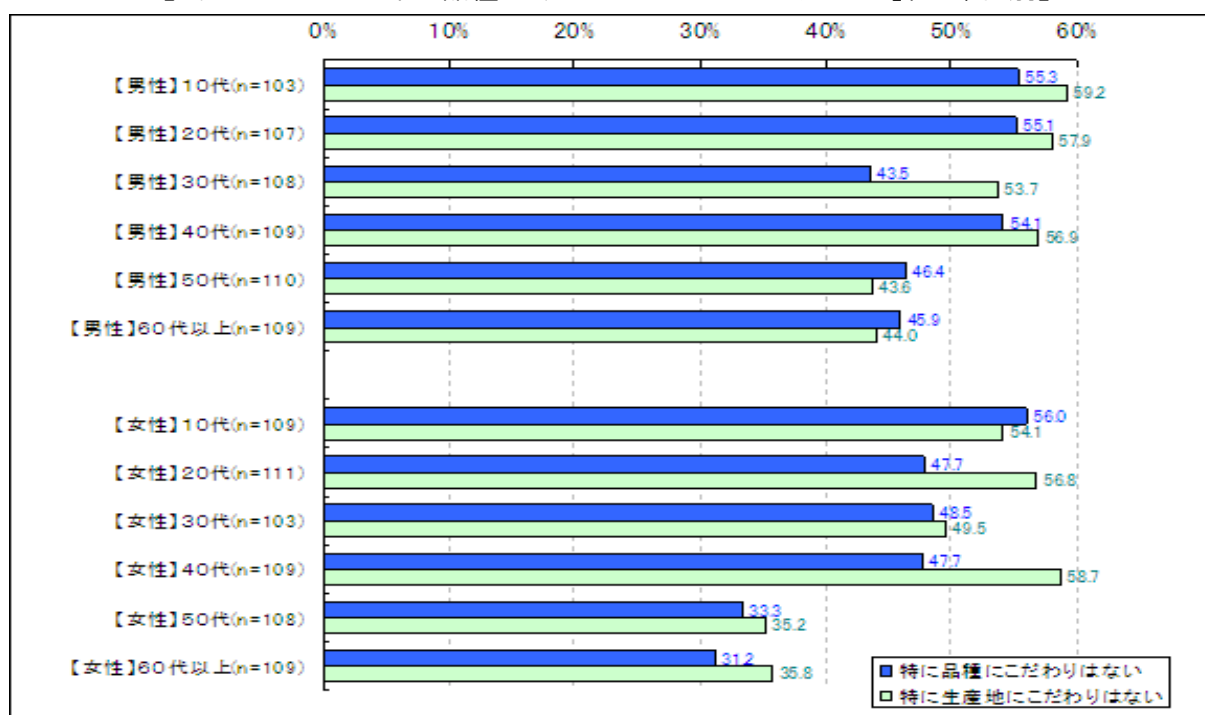
最も気に入っている“生産地”については、「新潟県(15.2%)」となり、2位「秋田県(5.6%)」に10ポイント近い差をつけた。

その一方で、“特にこだわりのない”という回答は、品種では47.0%、生産地では50.4%となり、およそ半分の人は、品種・産地に“特にこだわりのない”ことが分かった。性・年代別にみると、若い世代ほどこだわりの低くなる傾向があり、品種・生産地ともに何からのこだわり6割以上が持っているのは、50代・60代以上の女性のみという結果となった。

【気に入っているお米の品種・生産地(単一回答)】

順位	最も気に入っている品種		最も気に入っている生産地	
	品種	割合	生産地	割合
1位	コシヒカリ	28.1%	新潟県	15.2%
2位	あきたこまち	7.9%	秋田県	5.6%
3位	ひとめぼれ	2.5%	北海道	3.1%
4位	ミルキークイーン	1.7%	宮城県	1.7%
5位	ヒノヒカリ	1.6%	山形県	1.6%
参考	特に品種にこだわりのない	47.0%	特に生産地にこだわりのない	50.4%

【気に入っているお米の品種・生産地について「こだわりのない」性・年代別】

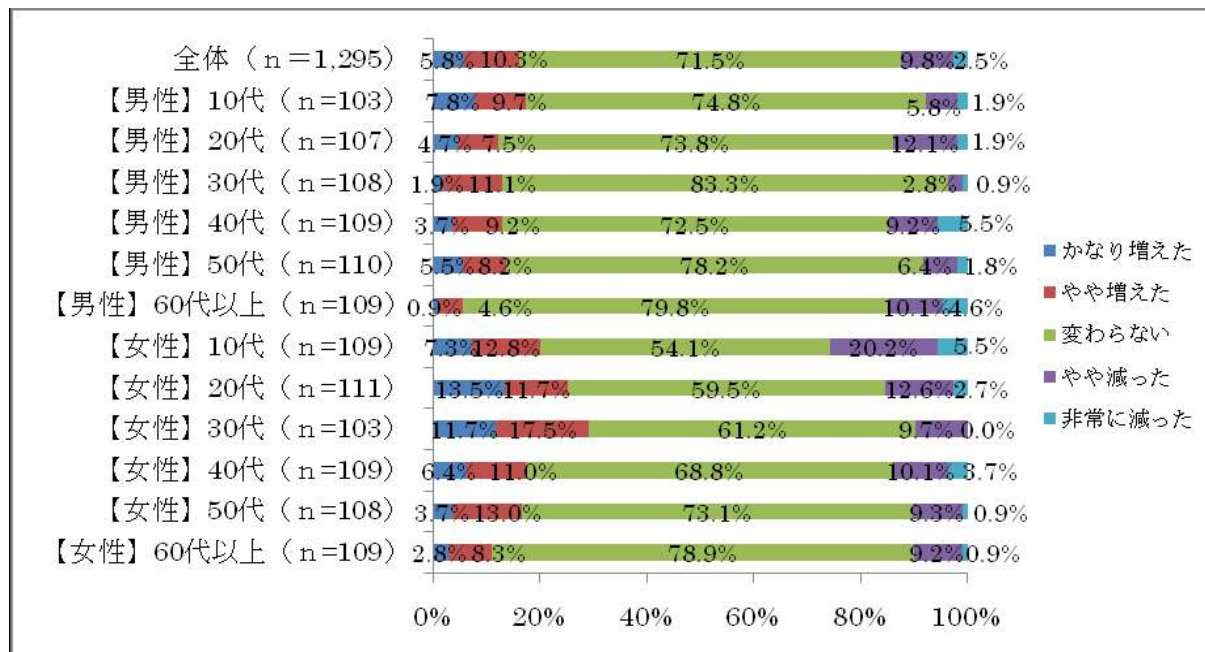


Q:1年前に比べてごはん(お米)を食べる機会が変化したか？

『1年前に比べてごはん(お米)を食べる機会が変化したか？』を尋ねたところ、「変わらない」(71.5%)が最も多かった一方で、増えた人(「かなり増えた」(5.8%)+「やや増えた」(10.3%))は16.1%となり、減った人、「非常に減った」(2.5%)+「やや減った」(9.8%)の合計12.3%を+3.8ポイントとわずかに上回る結果となった。

また、性・年代別にみると、20代・30代の女性で“増えた”と回答した人が多く、「かなり増えた」と「やや増えた」の合計はいずれも2割を超えた。

【ごはん(お米)－1年前との摂食機会の変化について】



「かなり増えた」と「やや増えた」と回答した209人(男性80人・女性129人)に、『1年前に比べてごはん(お米)を食べる機会が増えた理由(上位3つまで選択可)』を尋ねたところ、「家で食事をする時間が増えたため(45.5%)」が最も多く、次いで「外食が減ったため(30.0%)」、「ごはん(お米)のおいしさに気付いたため(21.3%)」の順となった。

また、性別でみると女性は「食事が和食中心になったため(24.0%)」が高かった。

「非常に減った」と「やや減った」と回答した160人(男性68人・女性92人)に、『1年前に比べて、ごはん(お米)を食べる機会が減った理由(上位3つまで選択可)』について尋ねたところ、「ダイエット(減量)のため(30.6%)」が最も多く、次いで「家で食事をする時間が減ったため(16.9%)」、「ごはん以外の主食(パン・麺類)のおいしさに気付いたため(14.4%)」の順となった。また、性別でみると女性は「ダイエットのため(34.8%)」が高かった。